

麦類の赤かび病を適期に防除しましょう！

当センターの予測によると、高温傾向の影響によりニューサチホゴールドデン（二条大麦）の出穂期は、今後の気温が平年並みに推移した場合、平年より7日早い4月11日頃になる見込みです。また今後、平均気温が高く、降水量も多いことが予想されています。

このため、赤かび病の発生リスクが高まるおそれがあるため、以下の防除対策を参考に、**防除適期を徹底**しましょう。

【防除対策】

- ・本病の子のう胞子の飛散好適条件は、最高気温 15℃以上、最低気温 10℃以上、湿度 80%以上である。
- ・出穂や開花の状況をよく観察し、ほ場や麦種ごとの防除適期を逃さないよう、防除を徹底する（表1）。なお、降雨が続く場合でも、短時間の晴れ間を活用して防除を実施する。
- ・不稔粒が発生したほ場では、赤かび病が多発するおそれがあるため、追加防除を実施する。
- ・薬剤感受性低下を防ぐため、FRAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する（表2）。
- ・無人航空機による散布は、地上散布と希釈倍数（散布液量）が異なるため、使用基準を確認する（表3）。



写真1 赤かび病が穎に鮭肉色のかび胞子を生じる

表1 麦種ごとの防除適期

| 麦種 | 防除適期 | 多発のおそれがある場合 (不稔粒発生や登熟期連続降雨時の追加散布) |
|------|--------------------------|--------------------------------------|
| 二条大麦 | 穂揃い期7～10日後（葯殻抽出期※1）（写真2） | 1回目の7～10日後に2回目散布 |
| 六条大麦 | 開花始※2と開花10日後の2回散布（写真3） | 3回目散布（収穫前日数に注意） |
| 小麦 | 開花始※2と開花20日後の2回散布（写真4） | 3回目散布（収穫前日数に注意） |

※1：穎の先端から葯殻（受粉を終えた葯の殻）が押し出される時期

※2：抽出した葯殻を初めて認めた日



写真2 【二条大麦】

穂揃い期7～10日後
 （葯殻抽出期）

※矢印は抽出した葯殻



写真3 【六条大麦】

開花始



写真4 【小麦】

開花始

表2 麦類の赤かび病に登録のある薬剤

| 農薬名 | 作物名 | 希釈倍数 (散布液量) | 使用時期 | 本剤使用回数 | 薬剤系統名 | FRAC コード | | |
|-------------|-----------|-----------------------------|----------|----------------------|-------|-------------|------|---|
| シルバキュアフロアブル | 小麦 | 2000倍(60～ 150L/10a) | 収穫7日前まで | 2回以内 | DMI剤 | 3 | | |
| | 大麦 | | 収穫14日前まで | | | | | |
| ワークアップフロアブル | 麦類 | 2000～3000倍 (60～150L/10a) | 収穫7日前まで | 3回以内 | | | | |
| チルト乳剤25 | 小麦 | 1000～2000倍 (60～150L/10a) | 収穫3日前まで | 3回以内 | | | | |
| | 大麦 | | 収穫21日前まで | 1回 | | | | |
| トップジンMゾル | 小麦 | 1000～1500倍 (60～150L/10a) | 収穫14日前まで | 3回以内(出穂期 以降は2回以内) | | | MBC剤 | 1 |
| | 麦類(小麦を除く) | 1500倍(60～ 150L/10a) | 収穫14日前まで | 3回以内(出穂期 以降は1回以内) | | | | |
| トップジンM水和剤 | 小麦 | 1000～1500倍 (60～150L/10a) | 収穫14日前まで | 3回以内(出穂期 以降は2回以内) | | | | |
| | 麦類(小麦を除く) | | 収穫30日前まで | 3回以内(出穂期 以降は1回以内) | | | | |
| ストロビーフロアブル | 小麦 | 2000～3000倍 (60～150L/10a) | 収穫14日前まで | 3回以内 | QoI剤 | 11 | | |
| | 麦類(小麦を除く) | | | | | | | |
| ミラビスフロアブル | 小麦 | 1500～2000倍 (50～150L/10a) | 収穫7日前まで | 2回以内 | SDHI剤 | 7 | | |
| | 大麦 | 1500～2000倍 (60～150L/10a) | 収穫14日前まで | | | | | |

注1：必ず農薬容器のラベルをよく読み、使用方法・使用上の注意事項を守る。

注2：薬剤抵抗性の発達を防ぐ観点から、FRACコードが同一のものは連用を避ける。

表3 麦類の赤かび病に登録のある主な薬剤(無人航空機による散布)

| 農薬名 | 作物名 | 希釈倍数 (散布液量) | 使用時期 | 本剤使用回数 | 薬剤系統名 | FRAC コード |
|-------------|-----------|----------------------|----------|----------------------|-------|-------------|
| シルバキュアフロアブル | 小麦 | 16倍(0.8L/10a) | 収穫7日前まで | 2回以内 | DMI剤 | 3 |
| | 大麦 | | 収穫14日前まで | | | |
| ワークアップフロアブル | 麦類 | 10～24倍 (0.8L/10a) | 収穫7日前まで | 3回以内 | | |
| チルト乳剤25 | 小麦 | 8倍(0.8L/10a) | 収穫7日前まで | 3回以内 | | |
| | 大麦 | | 収穫21日前まで | 1回 | | |
| トップジンMゾル | 小麦 | 8倍(0.8L/10a) | 収穫14日前まで | 3回以内(出穂期 以降は2回以内) | | |
| | 麦類(小麦を除く) | | 収穫21日前まで | 3回以内(出穂期 以降は1回以内) | | |
| ミラビスフロアブル | 小麦 | 8～16倍 (0.8L/10a) | 収穫7日前まで | 2回以内 | SHDI剤 | 7 |
| | 大麦 | | 収穫14日前まで | | | |

詳細は、農業総合研究センター 環境技術指導部 防除課 (TEL 028-665-1244) までお問合せ下さい。病害虫情報発表のお知らせは「栃木県農政部 X (@tochigi_nousei)」、農業総合研究センターホームページ (<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html>) でもご覧いただけます。

